

微分積分入門1 試験解答例

担当 山田智宏

計算・論証の過程を式と文章によって説明すること。ただし講義中に取り扱った判定法や補題、定理など、および高等学校までに学習している定理（三角関数の加法定理など）は証明なしで用いてよい。

- 1) (10点) $(t^2 \sin t)' = 2t \sin t + t^2 \cos t$.
- 2) (15点) $(f(e^t))' = f'(e^t)(e^t)' = e^t / \log(e^t) = e^t / t$.
- 3) (20点) まず

$$\begin{aligned} \left(\frac{2 + \sqrt{4 - t^2}}{t} \right)' &= \frac{-t}{t\sqrt{4 - t^2}} - \frac{2 + \sqrt{4 - t^2}}{t^2} \\ &= -\frac{1}{\sqrt{4 - t^2}} - \frac{2 + \sqrt{4 - t^2}}{t^2} \\ &= -\frac{2 + \frac{4 - t^2}{\sqrt{4 - t^2}} + \frac{t^2}{\sqrt{4 - t^2}}}{t^2} \\ &= -\frac{2 + \frac{4}{\sqrt{4 - t^2}}}{t^2} \end{aligned}$$

なので

$$\begin{aligned} \left(\log \frac{2 + \sqrt{4 - t^2}}{t} \right)' &= -\frac{\left(2 + \frac{4}{\sqrt{4 - t^2}}\right) / t^2}{(2 + \sqrt{4 - t^2}) / t} \\ &= -\frac{2 + \frac{4}{\sqrt{4 - t^2}}}{t(2 + \sqrt{4 - t^2})} \\ &= -\frac{2\sqrt{4 - t^2} + 4}{t(2 + \sqrt{4 - t^2})\sqrt{4 - t^2}} \\ &= -\frac{2}{t\sqrt{4 - t^2}}. \end{aligned}$$

2. $f(t) = e^{t \log(1 + 1/t)}$ なので、

$$\frac{f'(t)}{f(t)} = (t \log(1 + 1/t))' = \log(1 + 1/t) + t \frac{-1/t^2}{1 + 1/t} = \log(1 + 1/t) - \frac{1}{1 + t}$$

となる。そこで、 $u = 1/t$ とおくと右辺は $\log(1 + u) - u/(1 + u)$ となる。これを $g(u)$ とおくと $g(0) = 0$ かつ $u > 0$ のとき $g'(u) = 1/(1 + u) - 1/(1 + u)^2 > 0$

となるから $u > 0$ のとき $g(u) > 0$ 、つまり $t > 0$ のとき $f'(t)/f(t) > 0$ となる。 $f(t)$ は明らかに正であるから $t > 0$ のとき $f'(t) > 0$ となる。つまり $f(t)$ は $t > 0$ において単調増加である。(15点)

3. 1) (20点) $\sin 0 = 0$ かつ $x > 0$ のとき $0 < \cos x < 1$ なので、 $x > 0$ のとき $0 < \sin x < x$ となる。つまり $x > 0$ のとき $0 > (\cos x)' = -\sin x > -x$ となる。これと $\cos 0 = 1$ から、 $x > 0$ のとき

$$\cos x > 1 - \frac{x^2}{2}$$

となる。再び $\sin 0 = 0$ を用いると $x > 0$ のとき

$$\sin x > x - \frac{x^3}{6}$$

となる。つまり $x > 0$ のとき $(\cos x)' < -x + x^3/6$ となるので、再び $\cos 0 = 1$ を用いると $x > 0$ のとき

$$\cos x < 1 - \frac{x^2}{2} + \frac{x^4}{24}$$

となる。再び $\sin 0 = 0$ を用いると $x > 0$ のとき

$$\sin x < x - \frac{x^3}{6} + \frac{x^5}{120}.$$

- 2) (20点) $e^0 = 1$ かつ $x > 0$ のとき $(e^x)' = e^x > 1$ なので、 $x > 0$ のとき $e^x > 1 + x$ 。再び $e^0 = 1$ より $e^x > 1 + x + \frac{x^2}{2}$ 。一方、 $0 \leq t < x$ のとき $(e^t)' = e^t < e^x$ だから、 $0 \leq t \leq x$ のとき $e^t < 1 + te^x$ となる。とくに $e^x < 1 + xe^x$ つまり $(1-x)e^x < 1$ となるので、 $0 < x < 1$ のとき

$$e^x < \frac{1}{1-x}.$$